



Jazz Japan Vol. 111, 2019年10月24日

## ローラ・エインズワース

Photo courtesy of Swing City Productions

# ・Laura Ainsworth

歌うことはストーリーテリングに似ていて、女優も重なるところが多いわ。  
歌はドラマチックなモノローグであり、自分に正直でなければいけない。  
偽のエモーションは下手な演技と同等だわ

グラスを拠点に活動するレトロ・ジャズ・ヴォーカリストのローラ・エインズワース。ビビッドな赤毛が印象的なレトロ・ジャズ姫のベスト・アルバム『トップ・シェルフ』がアナログ盤でついに登場。大げさなビッグバンド・サウンドを中心にノスタルジー溢れる1920年代から50年代の隠れた名曲を現代に甦らせる彼女。新しくどこか懐かしい“ニュー・ヴィンテージ”こそローラの流儀といえるが、彼女の原点は父のサクソ兼クラリネット奏者のラリー・エインズワースの時代まで遡ることができる。

エラ・フィッツジェラルドやフランク・シナトラ、メル・トーマのバック演奏をしていた父のステージを観て、ジャズ・シンガーに憧れた少女はやがて時代を越え、自らジャズ・アイコンになることを選択したのだ。2011年のデビュー以来、着実にファンを増やし、知名度を上げてきた彼女はここきてアナログ盤の制作という長年の夢を叶えた。ローラに幼少時代から今までのユニークな経歴、彼女の集大成であるアナログ盤『トップ・シェルフ』への思い、そして今後の展望について聞いてみた。

まずは『トップ・シェルフ』のコンセプトから教えてください。  
「アメリカの洒落たナイト・クラブに行くと、最高級のお酒がトップ・シェルフに飾ってあるの。例えばトップ・シェルフ・マティーニなんかね。それと同じように、このアルバムも私の優れた曲ばかりがセレクトされているの。また今回、初めてアナログを出せたことはミュージシャン冥利に尽きるわね。私のスタイルはアナログ時代の音楽にインスパイアされているので、これで完全体になれたと感じているわ」

レトロ・ジャズはあなたの代名詞ですが、独自のローラ・スタイルはどのように生み出されたのでしょうか。  
「ジャズ音楽家だった父の影響が大きいわね。幼い頃からエラ、シナトラ、トニー・ベネット、ベギー・リー、ジュリー・ロンドンなど多くのシンガーを近くで観る機会があって、彼らから多くを学んだわ。一方、父はラジオのCMソングも作っていて、よくスタジオに連れていってくれた。そこで父はジャズと呼ばれるほど恐れられていて面白いことで有名だった。そんな父から私はビュアで特徴的な

サウンドを継承したの。でも本格的に歌い始めたのは高校生の時ね。ミュージカルをやることになって、これなら私にも出来ると確信したの。良いヴォイス・ティーチャーに恵まれたことも大きいわね。発声法は大事だし、今もまだまだ勉強中よ」

歌を歌っていない時は、ライター兼女優として活躍するローラ。ヴォーカリストかつライター&女優であることは、お互いの制作活動にどのような影響を与えているのだろうか。

「歌うことはストーリーテリングに似ていて、女優も重なるところが多いわ。歌はドラマチックなモノローグであり、自分に正直でなければいけない。偽のエモーションは下手な演技と同等だわ。フランク・シナトラは良い例で、彼は演技にしても、歌にしても、真っ直ぐな情熱を出すことができる天才ね。これまで私は多くの歌をグレート・アメリカン・ソングブックにならなくて書いてきたけれど、次からはもっとそれらを出していきたいわ。今のところ3枚目収録の〈ザ・マン・アイ・ラヴ・イズ・ゴーン〉しか録音していないから」

過去にインドとドバイ・ツアーを行いました。今後、日本に来る予定は？ またこれからの予定を教えてください。

「世界ツアーに出るまで自分が何を知らないで何を体験してこなかったのか、それさえも想像が出来なかった。でも実際に別世界を体験してみても開眼したわ。日本のジャズ・シーンに今、とても興味を持っているの。日本のジャズ・ミュージシャンはアメリカ人よりもジャズをよく知っているし、近い将来に日本で限定盤『ライブ・イン・ジャパン』を出すのが夢なの。実は『トップ・シェルフ』のCD盤も日本で特別にリリースしたいと思って今、レーベルを探している最中なの。日本盤にはボーナス・トラックもあって、どのアルバムにも入っていないアービング・バーリンの〈ユード・ビー・サプライズド〉が入るのよ。他にも、これまでの3枚の作品のリマスター盤を出す予定で、新作も2枚用意しているの。1つ目はリクエスト曲を集めたアナログ盤のコレクション作品『ユー・アスクド・フォー・イット』で、もう1つはタイム・トラベルを題材にしたアルバムよ。ぜひ楽しみにしてほしいわ」 (落合真理)